

# 感染症発生状況

令和元年9月12日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和元年9月2日（月）～9月6日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,635名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】222名 【職員】6名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】44名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数53名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（112名）、咳・鼻水（16名）、下痢・腹痛（12名）、嘔気・嘔吐（8名）

疾病別：手足口病（25名）、気管支炎・肺炎（18名）、溶連菌感染症（7名）、とびひ（5名）

【職員】症状：熱（1名）、嘔気・嘔吐（1名）、下痢・腹痛（1名）

疾病別：胃腸炎（2名）

RS・ヒトメタニューモウイルス感染症、インフルエンザ、溶連菌感染症、ヘルパンギーナ、手足口病、とびひなど各種感染症があります。

季節が移行していることを示しています。喘息が多くなっています。

## 【症状別の発生状況】

手足口病 玉山、河北地域で減少。盛南、都南地域で増加しました。

気管支炎・肺炎 厨川、河北、河南、都南地域で増加しました。

溶連菌感染症 厨川地域で減少。玉山、盛南、都南地域で増加しました。

とびひ 玉山地域で減少。厨川、都南地域で増加しました。

## 【県の状況（8/26～9/1）】

手足口病は、盛岡市、久慈、二戸地区以外の7地区で警報値（定点当たり患者数5人）を超えました。原因ウイルスが複数あるので、数回かかることがあります。環境保健研究センターの検査では、A群コクサッキーウイルス6型、次いで同16型が主に検出されています。乳幼児は口内の発疹により水分摂取が難しくなるので脱水に注意が必要です。予防には、患者との濃厚接触やタオルの共用を避け、手洗いの励行が重要です。

RSウイルス感染症は、中部地区で報告が多くなっています。乳幼児を中心に流行し、細気管支炎や肺炎により、呼吸困難を呈することがあります。例年、秋から冬にかけて流行するので注意が必要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】